

令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第20回研修を開催しました！

令和7年11月1日（土）、盛岡市の株式会社いわて若江農園において、いわて新農業人チャレンジファーム第20回研修を実施しました。

いわて若江農園は、環境制御装置を県内でもいち早く導入し、通年でトマト栽培を行っております。また、自社システムによる作業の見える化など、業務効率化も実施しており、県内有数の先進的なトマト栽培農家です。

当日は、まず若江代表から農場周辺をご案内いただき、地域環境や農場の特色について説明を受けました。続いて事務所において、若江代表が就農に至る経緯や自社の経営概況などについてお話を伺い、受講生は農業経営の実際や地域との関わりについて理解を深めました。

その後は、若江代表と受講生との質疑応答の時間を長く設けました。受講生からは「農業機械等の購入資金はどのように調達したのですか」「作業状況の進捗管理の見える化はどのように実施されているのですか」「トマトの販路

をどのように開拓されたのですか」といった質問が寄せられ、若江代表からは一つひとつ丁寧な回答をいただきました。双方向のやり取りを通じて、農業経営のリアルな側面を学ぶ機会となりました。

最後に、トマト栽培ハウスを見学し、栽培方法や使用資材について若江代表から直接説明を受けました。先進農家の栽培技術や工夫を目の当たりにすることで、農業の可能性と発展性を実感する時間となり、品質管理や効率化に関する説明は特に関心を集めました。

本研修は、農業経営の実際と栽培技術の両面を学ぶ充実した内容となり、受講生にとって大きな収穫のある一日となりました。

次回の第21回研修は、盛岡市において修了生も参加可能なオープン講座として開催予定です。県内の種苗店から講師を招き、種や品種に関する講義を行うほか、修了生2名による事例発表も予定されています。



トマト栽培施設を外観から見する受講生



若江代表（写真中央）からのお話を聞く受講生



自社商品に封入のラベルについて説明する若江代表



トマト栽培施設見学の様子